

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 16日

秋田県知事 殿

提出者

住 所 秋田県大館市中道3丁目1番50号

氏 名 花岡土建株式会社

代表取締役 鈴木 洸士

電話番号 0186-42-5391

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	花岡土建株式会社
事業場の所在地	秋田県大館市中道3丁目1番50号
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

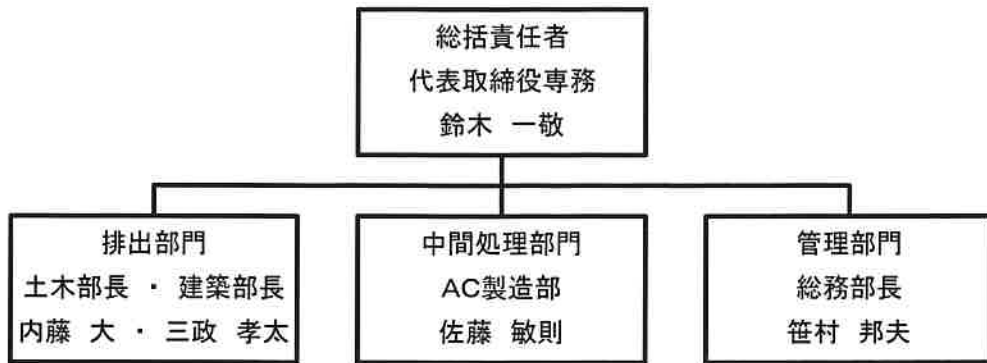
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高等 30億
③ 従業員数	65名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	当社から発生する産業廃棄物は、各工事現場より建設混合物、コンクリート殻、アスファルト殻、廃プラスチック類、汚泥、金属くず、紙くず、木くず等、自動車整備工場より使用済自動車、廃油、廃タイヤである。このうち、例年であれば全発生量の約90%以上にあたるコンクリート殻、アスファルト殻は当社の中間処理場（破碎・溶融）で処理後、各現場で再生合材、路盤材として再利用されるが、それ以外はほとんど委託処理される。

（日本工業規格 A列1番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 工事の受注及び受注した現場環境により廃棄物の種類、排出量が左右されるので予想は困難であるが、産業廃棄物が発生した場合は、優良認定処理業者、再生利用業者、認定熱回収業者を優先的に利用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,124 t	t
	（これまでに実施した取組） 自社所有の中間処理施設（破碎・溶融）にて、その廃棄物全部を再生アスコン、再生骨材、再生路盤材に再資源化する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 工事の受注及び受注した現場環境により廃棄物の種類、排出量が左右されるので予想は困難であるが、これまで通りその全部を再資源化する。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,124 t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 工事の受注及び受注した現場環境により廃棄物の種類、排出量が左右されるので予想は困難であるが、これまで通りその全部を再資源化する。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	ガラスコンクリート陶磁器	紙くず	木くず	建設混合物管理型
	全処理委託量	31.69t	7.48t	11.27t	0.06	151.1t	46.11t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量		7.48t	9.01t		151.1t	
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組) 木くず、金属くず、石膏ボード：リサイクル製品秋田県認定業者への委託 建設汚泥：造粒固化し埋戻材として排出作業所で再利用						

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	繊維くず			
	全処理委託量	3.2t	1.51t			
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量					
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(これまでに実施した取組) 木くず、金属くず、石膏ボード：リサイクル製品秋田県認定業者への委託 建設汚泥：造粒固化し埋戻材として排出作業所で再利用					

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>工事の受注及び受注した現場環境により廃棄物の種類、排出量が左右されるので予想は困難であるが、産業廃棄物が発生した場合は、優良認定処理業者、再生利用業者、認定熱回収業者を優先的に利用する。</p>			
※事務処理欄			